

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：愛知県 美浜町

◆コンセプト： みはまトリプルAプラン

「だれでも いつでも どこでも 活躍できるまち」をスローガンに美浜町に住み、学び、働くすべての人々が、地域社会の中に居場所を見つけ、様々な人や活動とつながりながら、役割を担い、生き生きと生活することのできるまちを目指す。

<特徴>

経済活動、ボランティア活動や地縁活動などを含めて、だれでもいつでもどこでも活躍できる場と機会と役割を作り出す。



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 名鉄知多奥田駅構内に交流拠点として「ちゃぶだいハウス」を整備



【今後の展開】

- 交流拠点にとどまらず、子ども食堂の開催やサロン活動など、子ども・大人の居場所づくりに取り組む

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- ちゃぶだいハウスにおいて、人材育成のサポートや機会づくり（マッチング）を実施



【今後の展開】

- 既存団体と協力・連携し横断的なネットワーク化によるサポート体制を整備し、新たなコミュニティビジネスの創出を目指す

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 美浜町と日本福祉大学の連携事業として、「みはまスポーツクラブ」を設立し、町民の健康づくりに取り組む



【今後の展開】

- 豊かなスポーツプログラムや健康づくりの仕組みを開発・構築をできるよう2019年に一社化し、自立した組織として「みはま」ならではの取組の推進を図る

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- まちづくり中間支援団体「（一社）美浜まちラボ」において、「美浜空き家管理センター」を開設



【今後の展開】

- 管理する空き家をリノベーションし、移住や二拠点生活、サテライトオフィス誘致などに繋げる

コミュニティへの人の流れ

- 移住・定住の促進のため、フリーペーパー「みはまデイズ」を発行したほか、移住希望者を対象とした「暮らし体感ツアー」、「自然体験ツアー」を開催した。今後もシティープロモーションプロジェクトに取り組み、全国へ「みはまファン」を増やす

その他特徴的な取組

- 現在進めている「美浜町運動公園」の整備を契機としたまちづくりを推進するため、日本福祉大学と連携し、「みはまスポーツまちづくり推進室」を開設した。今後は、スポーツを通じた生涯活躍のまちの実現に取り組む

基礎データ

- ・人口：20,980人（R5.4月時点）
- ・H29.3 美浜町生涯活躍のまち基本構想・基本計画（みはまトリプルAプラン だれでもいつでもどこでも活躍できるまち）策定
- ・H29.5 生涯活躍のまち「みはまトリプルA」推進地域再生計画認定
- ・H29～R1 地方創生推進交付金を活用し、事業を実施した。